

## 若手研究奨励セッション

11月27日（土） Aグループ 10:25~12:05, Bグループ 13:00~14:40

### Aグループ

演題番号	タイトル・筆頭演者	発表時間
Y1	ATTENTIONAL FOCUS STRATEGYで用いる指示内容がドロップジャンプパフォーマンスに及ぼす影響 —外的意識に着目して— 古橋 侑季（岐阜大学大学院教育学研究科）	10:25~10:40
Y2	高校生男子長距離選手におけるRJ indexと自己記録および有酸素性能力との関係 後藤 晴彦（公益財団法人岐阜県スポーツ協会岐阜県スポーツ科学センター, 早稲田大学大学院）	10:40~10:55
Y3	在宅での自重トレーニングが高齢者の筋パワー及び骨格筋細胞量にもたらす効果 ：膝関節伸筋群を対象として 野村 祐太（芝浦工業大学）	10:55~11:10
Y4	持久性トレーニング時における着衣による熱ストレスの付加が持久性パフォーマンスの向上に及ぼす影響 山口 慶一（立命館大学スポーツ健康科学研究科・日本学術振興会特別研究員）	11:20~11:35
Y5	走高跳選手はアキレス腱のコンプライアンスを保ちつつ大きな足関節底屈トルクを発揮できる 藤森 俊秀（筑波大学大学院 人間総合科学学術院）	11:35~11:50
Y6	スクワットジャンプにおける跳躍回数の増加がジャンプパフォーマンスに及ぼす影響 日置 佑輔（兵庫教育大学大学院）	11:50~12:05

### Bグループ

演題番号	タイトル・筆頭演者	発表時間
Y7	着衣による熱ストレスを付加した持久性トレーニング時の生理応答 岡本 紗弥（立命館大学スポーツ健康科学部）	13:00~13:15
Y8	男子走幅跳競技者における踏切2歩前から踏切にかけてのストライドパターン改善に向けた取り組み事例 長尾 行浩（山梨学院大学経営学部）	13:15~13:30
Y9	上肢単関節および多関節運動における負荷の漸減法の違いがトレーニング時間と仕事量に与える影響 蒔田 雄也（東海学園大学 スポーツ健康科学部）	13:30~13:45
Y10	スプリントトレーニングの量の違いが最大無酸素パワーに与える影響 武藤 光哉（東海学園大学 スポーツ健康科学部）	13:55~14:10
Y11	エリートスキー・スノーボードクロス選手の体力要素の特徴 増田 雄太（国立スポーツ科学センターハイパフォーマンスジム）	14:10~14:25
Y12	競泳におけるキックスタートの飛距離と片脚ハードルジャンプの動作学的変数との関係 久光 哲也（新潟医療福祉大学）	14:25~14:40